



# 連合島根 松江隠岐地協ニュース

<2019年 6月27日 VOL 2019-02>  
○発行 連合島根松江隠岐地協  
○編集責任者 錦織泰治

〒690-0007 松江市御手船場 557-7  
TEL:0852-21-8105 FAX:0852-23-4105

## 第90回 島根県中央メーデー

4月27日(土)、平成最後となる第90回島根県中央メーデーが、働く仲間とその家族約2,000名の参加者で盛大に開催されました。午前9時15分島根県庁前をスタートした組合員とその家族総勢約1,500人のデモ行進は、桃太郎旗や手作りプラカードを掲げ「格差是正・働き方改革実現」などを訴えながら式典会場である旧県立プール跡地広場に集結。式典には、3日後に就任を控える「丸山たつや」新知事をはじめ多数の来賓にご臨席いただき、主催者、来賓あいさつなどの後、仲田連合島根会長による「団結ガンバロー」で式典を締めくくりました。参加した組合員とその家族の皆さんは、その後のプラカードコンテストや福引抽選会、趣向を凝らした各種模擬店などで楽しいひと時を過ごし、平和と人権を守る労働者の祭典「メーデー」は幕を閉じました。



## 第90回 隠岐地区(島後)メーデー

4月25日(木)18時から隠岐島文化会館に組合員とその家族約200人が参加して開催されました。前日からの悪天候のため恒例のデモ行進は取り止め、式典のみの開催。

「安心して住める隠岐の島 自信と希望を胸に 一致団結がんばろう！」を独自スローガンに掲げ、式典の他にお楽しみ抽選会も行い、平和と人権を守る労働者の祭典メーデーをみんなで祝いました。



## 第90回 隠岐地区(島前)メーデー

4月26日(金)18時30分から西ノ島町「隠岐サイド」ホール鶴丸」を会場に隠岐島前地域3町村で働く連合の仲間67名の参加で開催されました。式典の他、お楽しみ抽選会、そして参加者全員での懇親会を行い、労働者の祭典を祝いました。海で隔たれているため、日頃から交流の機会が少ない環境ですが、この日ばかりは大いに盛り上がり、交流を深める機会となりました。来年は知夫村での開催予定です。



労働者の祭典  
第九〇回メーデー  
各地で開催!

# 丸山知事と隠岐の未来を大いに語る！！

## —丸山知事と隠岐地区会議との意見交換会開催される—

6月7日（金）17時30分からの1時間、隠岐の島町役場組合事務所を会場に丸山知事と連合隠岐地区会議役員他連合側12名による意見交換会が開催されました。知事の隠岐4町村訪問に合わせて実現した連合島根で初となる現職知事との意見交換会。隠岐地域の現状と課題について、短時間ではありましたが率直な意見交換が行われました。

### 【報告：隠岐地区会議事務局長 小川 勝】

隠岐地区会議から、隠岐航路の本土側からの渡航者への運賃の逡減による観光振興やカーフェリーにおける自動車積込料金の逡減について意見を伺いました。丸山知事も隠岐航路についての問題は認識されているものの決められた予算内での運用という側面もあるということでしたが、予算全体の拡充という点からも国に働きかけて頂けると言うことでした。

隠岐地区会議からは、その他地元産業の活性化、島内運輸業界の人材不足解消策としてのUIターン希望者への職業紹介、観光と宿泊施設への補助、医療・福祉分野における県との連携など幅広いテーマで話すことが出来たと思います。

県として可能なこともあれば、県だけでなく各自治体や各産業で仕組み作りといった、まだまだやれることがあることにも気付かされる機会でした。県知事として把握されておられると同時に、県という単位で可能なこと、難しいこともあることを私としても知ることが出来、自分達でできる事から取り組むことを改めて考えさせられる良い機会でした。



津森議員の質問に対して松浦市長は、僅かな時間で従来からの自らの考え方を繰り返すのみでした。この質問が一連のわだかまり解消に向けたきっかけとなることを期待した地協傍聴団でしたが、後味の悪い結果となりました。



当日は、カラスによる松江市役所全館停電となる前代未聞のハプニングで、津森議員の開始時間が大幅に遅れる中、地協構成組織と退職者連合から30名を超える参加者で傍聴行動を行い、津森議員の質問を見守りました。津森議員の質問に対して松浦市長は、僅かな時間で従来からの自らの考え方を繰り返すのみでした。この質問が一連のわだかまり解消に向けたきっかけとなることを期待した地協傍聴団でしたが、後味の悪い結果となりました。

### 津森議員 松浦市長へ真意を問う！

—松江市議会6月定例会代表質問—

松江市議会6月定例会が6月19日から7月9日までの会期で開会し、6月24日、津森良治議員が市民クラブとして代表質問に臨みました。主な内容は、大半の市民の周知の事実である知事選挙期間中に応援演説のマイクを握った松浦市長の発言内容について、その事実確認と関係者への正式な謝罪、そして丸山知事をはじめとする関係者との関係修復を求める内容です。保守分裂の激しい選挙戦であり、ネガティブキャンペーンも許容範囲であるとしても、一個人の実名を複数あげた上で、事実無根のうわさを如何にも真実であるかのように訴えたその光景は、常軌を逸し、松浦市長としての品位を著しく低下させることとなりました。